

こねずみたちは、さっそく たねを うえました。

こねずみたち

「はやく めが しろ。はやく めが しろ。」

よつすを みんきた くまじいさん、

くまじいさん

「あの子たち、みずを あげてないじゃないか。」

おもわず つぶやいてしまいました。

くまじいさん

「み、みず、みずだよ。」

こねずみたちは、めを ぱちくり。

こねずみ 赤

「ねえ、いま、かぼちゃの こえが きこえたよ。」

こねずみ 青

「みずが ほしうって。」

こねずみ 黄

「ほく、みずを くんでくる。」

くまじいさんは、あたまを ぽりぽり。

くまじいさん

「やれやれ、かぼちゃに まちがえられて

しまったわい。」

勘違いを、
楽しんでる
感じで。

めが できました。

「おおきくなーれ。」

① ————— ② **【まめでぬく】**

つるが のびました。

「おおきくなーれ。」

③ **【まめでぬく】**

はっぱが ふえました。

「おおきくなーれ。」

【やいっせー】

こねずみの声が、
だんだん
大きくなるように。

少しためらうような
感じで。

歌うように。

くまじいさん

「おおきくなるよー!」

茶目っ気を出して。

くまじいさんが、きの かげから ささやきました。

こねずみたちは、みみを ぴくぴく。

こねずみ 赤

「あっ、また かほちやさんの こえが

きこえたよ。」

こねずみ 青

「うん、きこえた。」

こねずみ 黄

「かほちやさん、がんばれー!」

くまじいさんは くふふっと わらいました。

あらしが やってきました。

こねずみ 赤

「すごい あめと かぜだよ！」

こねずみ 青

「ほぐらの かぼちやを まもらなくちや。」

こねずみ 黄

「うわー、とばされちやよう。」

そのときです。

ドシンッ！ 【①で、うきおらよへ止める】

① おおきな おとが しました。

こねずみ 赤

「あれ？ かぜが よわくなったよ。」

こねずみ 青

「あめもだよ。」

こねずみ 黄

「ほんとうだ。」

じっは……、

【ゆっくり全部ぬく】

さけぶ感じで。

ほっとしながらも

不思議に思っ感じで。

くまじいさんが、あめと かぜから
こねずみたちを まもっていたのです。

くまじいさんは さげびました。

くまじいさん

「みんなー、ぶじかーい?」

こねずみたちは、わっと こえを

あげました。

こねずみ 赤

「かほちやさんだ!」

こねずみ 青

「かほちやさん、だいじよぶ?」

こねずみ 黄

「ほくたち、そばに いてあげるからね。」

【間をあける】

くまじいさんは、あらしが やむまで、

こねずみたちを まもりつづけました

そして、そらが あかるくなるまえに、

こっそり いえに かえりました。

必死な感じで。

こねずみなりに、
がんばっている感じで。

かぼちゃの はなが さきました。

はなの うしろに ちいさな みが になりました。

こねずみ 赤

「きつと かぼちゃの あかちゃんだよ。」

こねずみ 青

「かぼちゃの あかちゃん、おおきくなーれ。」

こねずみ 黄

「おおきくなって、あまーくなーれ」

くまじいさんは さそやきました。

くまじいさん

「おおきくなるよ。あまーくなるよ。」

こねずみ 赤
こねずみたち は、ぴよんと とびはねました。

こねずみ 赤

「きこえた、きこえた、かぼちゃさんの こえ。」

こねずみ 青

「おおきくなるって。」

こねずみ 黄

「あまくなるって。」

くまじいさんも、とびはねたくなるのを

ぐっと がまんしました。

かぼちやの あかちゃんは、ぐんぐん そだって、
 おおきな おおきな かぼちやに なりました。

こねずみたちは、かぼちやを みあげました。

こねずみ 赤

「おいしい ものを つくりたいね」

こねずみ 青

「でも、どうやって きるの？」

こねずみ 黄

「こんなに おおきくちや、きれないよ。」

こねずみたちは、うーんと かんがえました。

うーん うーんと かんがえているうちに、

こねずみ 赤

「ほく ねむたくなっちゃった。」

こねずみ 青

「ほくも……。」

2

こねずみ 黄

「すう、すう、すう。」

みんな ねむってしまいました。

くまじいさん

「やれやれ、てっだってやるかのう」

くまじいさんが かぼちやを もちあげると……。

1

くまじいさん

「あー」

【1】 **あー**

かぼちやが、ごろんと ころがりおちました。

くまじいさん

「あーあー」

【2】 **あーあー** ゆらしながら止める

ごろん

「あーあー」

【勢いよく全部抜く】

クスクス笑いながら
 言っている感じで。

はしゃいでいる感じから、
 悩んでいる感じへ。

かほちやは いわに ぶつかって、
われてしまいました。
くまじいさん
「しまった！ あのこたちの だいじな
かほちやが。」

【重々しい感じで抜く】

心底、悔やむ感じで。

こねずみたちが　めを　さました。
こねずみ　赤

「なんの　おと?」

こねずみ　青

「くまじいさん　どうしたの?」

こねずみ　黄

「わあ、かぼちゃが　われてるよ。」

くまじいさんは、しょんぼり　かたを

おとしました。

くまじいさん

「すまない。だいじな　かぼちゃを

わってしまったよ。」

こねずみたちは、われた　かぼちゃを

じっと　みつめると……。

【きつと抜く】

こねずみたち、
びっくりした感じで。

心から謝る感じで。

ぱちぱちぱちー！

てを たたきました。

こねずみたち

「くまじいさん、ありがとうございます！」

くまじいさんは、めを ぱちぱち。

くまじいさん

「どうして、ありがとうございます？！」

こねずみたちは、うれしそうに いいました。

こねずみ 赤

「だって、これで、りょうりが できるもん。」

こねずみ 青

「おおきな おなべに いれて、

ぐつぐつ によつよ。」

こねずみ 黄

「いえに おおきな おなべって あったっけ？」

くまじいさんは、わらいました。

くまじいさん

「はっはっはっ。わしの なべを かしてやろう。」

ついでに なべを おける かまども

つくつて やろう。」

こねずみたち

「わーい、くまじいさん ありがとうございます！」

予想外の反応で、戸惑う感じで。

とほけた感じで。

弾けたように大きく笑う。

くまじいさんは、かほちゃ ばたけの よこに
かまごを つくって、おおきな なぐを のせました。
こねずみたちは、かほちやを ぜんぶ いれて、
ぐつぐつ にました。

こねずみたち

「おいしくなーれ、おしくなーれ。」

楽しそうに。

くまじいさんも いっしょに

うたいました。

くまじいさん

「おいしくなーれ、おいしくなーれ。」

うれしそうに。

ふわんと ゆげが たちのぼり、

あまい においが ただよいました。

こねずみ 赤

「さあ できた。」

こねずみ 青

「とろーりにこんだ かぼちゃスープ。」

こねずみ 黄

「いただきます。」

こねずみたちは ひとくち たべたとたん、

こねずみたち

「おいしーす。」

ほっ。へを おさえました。

こねずみ 赤

「こんなに おいしい かぼちゃスープを

たべられるのも、かぼちゃさんと

くまじいさんの おかげだね。」

こねずみ 青

「ほんと ほんと。」

こねずみ 黄

「かぼちゃさん、くまじいさん、ありがとうございます。」

くまじいさんは、ほっほっほっと わらいました。

くまじいさん

「ほんとつに おうっす

かぼちゃスープじゃのう。」

かぼちゃいろの ゆっひが、みんなの えがおを

あかるく てらしました。

おわり

とびきり元気に。

しみじみと、
うれしそうに。

「ちゃんかほちやん」

脚本・絵 ひろいれいこ

こねずみの きょうだいが、くまじいさんから

かほちやんの たねを もらいました。

くまじいさん

「ちゃんと そだてられるかい？」

こねずみ 赤

「だいじょうぶだよ。」

こねずみ 青

「ほくら 三にん いるもん。」

こねずみ 黄

「おおきい かほちやんになると いいなあ。」

くまじいさんは しんぱいそう。

くまじいさん

「ほんとうに だいじょうぶかのう。」

心配そうに。

独り言のように。

※それぞれの性格

くまじいさん

やさしい。

ゆっくり口調

こねずみ 赤

元気いっぱい

こねずみ 青

大人しいけれど、

実はしっかり者。

こねずみ 黄

のんびり屋